

# 令和5年度 老人福祉センター横浜市ユートピア青葉 収支決算書

(単位：円)

収入の部	予算額	決算額	差引	備考
市委託料	39,334,000	39,334,000	0	
参加費収入	70,000	38,592	31,408	参加費収入
負担金収入	0	0		
雑収入	0	0		
その他収入①	280,000	220,440	59,560	利用者リソグラフ、実習受入等
その他収入②	0	7,690,475	△ 7,690,475	法人本部より補填
合計	39,684,000	47,283,507	△ 7,599,507	

(単位：円)

支出の部	予算額	決算額	差引	備考
人件費	22,569,000	28,317,288	△ 5,748,288	
給与	11,300,000	12,006,000	△ 706,000	職員俸給＋賞与
社会保険料等	2,200,000	2,111,177	88,823	法定福利費
賞金	8,589,000	13,099,183	△ 4,510,183	非常勤賞金
その他（通勤手当等）	480,000	1,100,928	△ 620,928	
事務費	1,435,000	2,199,671	△ 764,671	
旅費	40,000	29,498	10,502	
消耗品費	300,000	832,982	△ 532,982	コピー用紙、蛍光灯、衛生用品等
会議賄費	5,000	25,000	△ 20,000	青葉区社協、部会
印刷製本費	100,000	166,427	△ 66,427	広報紙発行等
通信費	300,000	364,544	△ 64,544	電話、インターネット、郵送料等
使用料及び賃借料	300,000	336,062	△ 36,062	カラオケ機器、玄関等マット、印刷機器等
備品購入費	50,000	41,082	8,918	椅子、リモートホン
手数料	10,000	64,510	△ 54,510	
その他諸費	330,000	339,566	△ 9,566	勤怠・経理システム等
事業費	840,000	981,744	△ 141,744	
自主事業費	840,000	981,744	△ 141,744	講師謝金、保険料、カラオケ機器情報通信料
管理費	13,910,000	14,621,804	△ 711,804	
光熱水費	8,200,000	7,792,676	584,324	
電気	4,000,000	3,319,692	680,308	
ガス	2,600,000	3,160,209	△ 560,209	
水道	1,600,000	1,312,775	287,225	
修繕費	800,000	478,245	321,755	階段手摺、受水槽定水位弁、過電流継電器交換等
設備保全費	4,910,000	6,350,883	△ 1,440,883	
定期清掃	1,740,000	1,870,048	△ 130,048	
機械警備	177,000	177,144	△ 144	
設備総合巡視点検	260,000	260,348	△ 348	
空調設備	1,078,000	1,574,410	△ 496,410	
電気設備	101,000	112,728	△ 11,728	
昇降機	242,000	241,560	440	
自動ドア	62,000	62,269	△ 269	
消防設備	450,000	449,570	430	
その他保全費	800,000	1,602,806	△ 802,806	駐車場、利用者用コピー機・印刷機、換気扇清掃、植栽、害虫駆除、ゴミゼロ等の保守
共益費	0	0	0	
公租公課	30,000	0	30,000	
二一ズ対応費	0	0	0	
法人本部経費	900,000	1,163,000	△ 263,000	法人本部への繰出金
合計	39,684,000	47,283,507	△ 7,599,507	

1 開館日数(日)													
開館日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	29	30	29	30	30	29	30	29	26	26	28	30	346
2 利用者数(人)													
延べ利用者数 ①+②+③	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2661	2501	2876	2760	2345	2651	2724	2699	2709	2607	2854	2743	32130
個人利用 (①小計)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	137	117	117	139	96	114	129	127	119	145	169	184	1,593
	男 103 女 34	男 82 女 35	男 88 女 29	男 98 女 41	男 69 女 27	男 84 女 30	男 93 女 36	男 102 女 25	男 94 女 25	男 113 女 32	男 123 女 46	男 134 女 50	男 1,183 女 410
団体利用 (②小計)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	2,244	2,068	2,461	2,292	1,909	2,168	2,186	2,126	2,129	2,072	2,078	2,154	25,887
	男 2,244 女 0	男 2,068 女 0	男 2,461 女 0	男 2,292 女 0	男 1,909 女 0	男 2,168 女 0	男 2,186 女 0	男 2,126 女 0	男 2,129 女 0	男 2,072 女 0	男 2,078 女 0	男 2,154 女 0	男 25,887 女 0
趣味の教室	31 94	29 84	36 91	39 76	27 55	31 52	15 88	18 108	15 89	15 65	10 47	18 86	284 935
教室OB会	20 43	20 42	20 39	18 30	20 34	18 35	11 14	7 6	12 18	8 10	17 21	7 12	178 304
その他団体	518 1,538	484 1,409	515 1,512	440 1,389	543 1,152	583 1,449	552 1,506	528 1,459	544 1,451	546 1,428	514 1,469	581 1,450	6,348 17,212
シニア大学	0 0	0 0	150 92	190 110	54 24	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	400 226
その他 (③小計)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	280	316	298	329	340	369	409	446	461	390	607	405	4,650
	男 280 女 0	男 316 女 0	男 298 女 0	男 329 女 0	男 340 女 0	男 369 女 0	男 409 女 0	男 446 女 0	男 461 女 0	男 390 女 0	男 607 女 0	男 405 女 0	男 4,650 女 0
視察・見学	3 9	1 9	1 3	1 1	6 11	2 2	4 4	16 9	3 4	4 3	5 4	9 8	55 67
地域開放	124 144	143 163	104 190	102 225	120 203	138 227	155 246	175 246	170 284	122 261	256 342	112 276	1,721 2,807
3 各種相談事業の開催実績(人)													
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活相談	41	46	53	69	52	53	43	65	58	43	27	54	604
職業相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保健相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栄養相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	41	46	53	69	52	53	43	65	58	43	27	54	604
4 施設利用の実績(人)													
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
浴室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シャワー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
図書室(任意)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
〇〇(任意)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
〇〇(任意)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 新規利用証の発行数(人)													
発行数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	0	1	0	2	0	18	1	0	1	0	0	22	45
6 事故報告等件数(区地域振興課へ報告書を提出した件数を記載)													
件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(その他)  
 ・提出期限は、翌月の10日までに各区地域振興課及び健康福祉局に報告するものとする。  
 ・(任意)と記載したものの以外は、必須事項とする。

老人福祉センター横浜市ユートピア青葉 占有利用状況報告書(部屋別稼働状況)

	会議室(A)		会議室(B)		生きがい作業室		工作室		和室		機能回復訓練室	
	稼働 コマ数	稼働率	稼働 コマ数	稼働率	稼働 コマ数	稼働率	稼働 コマ数	稼働率	稼働 コマ数	稼働率	稼働 コマ数	稼働率
	総 コマ数		総 コマ数		総 コマ数		総 コマ数		総 コマ数		総 コマ数	
4月	46	52.9%	48	55.2%	38	43.7%	38	43.7%	17	19.5%	81	69.8%
	87		87		87		87		87		116	
5月	45	50.0%	45	50.0%	40	44.4%	41	45.6%	16	17.8%	75	62.5%
	90		90		90		90		90		120	
6月	51	58.6%	49	56.3%	42	48.3%	36	41.4%	18	20.7%	80	69.0%
	87		87		87		87		87		116	
7月	51	56.7%	53	58.9%	40	44.4%	32	35.6%	19	21.1%	77	64.2%
	90		90		90		90		90		120	
8月	46	51.1%	45	50.0%	27	30.0%	31	34.4%	12	13.3%	82	68.3%
	90		90		90		90		90		120	
9月	53	60.9%	54	62.1%	38	43.7%	37	42.5%	16	18.4%	80	69.0%
	87		87		87		87		87		116	
半期計	292	55.0%	294	55.4%	225	42.4%	215	40.5%	98	18.5%	475	67.1%
	531		531		531		531		531		708	
10月	55	61.1%	56	62.2%	44	48.9%	32	35.6%	15	16.7%	80	66.7%
	90		90		90		90		90		120	
11月	53	60.9%	52	59.8%	42	48.3%	39	44.8%	19	21.8%	81	69.8%
	87		87		87		87		87		116	
12月	53	67.9%	52	66.7%	36	46.2%	33	42.3%	20	25.6%	78	75.0%
	78		78		78		78		78		104	
1月	49	62.8%	45	57.7%	31	39.7%	35	44.9%	17	21.8%	76	73.1%
	78		78		78		78		78		104	
2月	53	63.1%	53	63.1%	34	40.5%	36	42.9%	17	20.2%	81	72.3%
	84		84		84		84		84		112	
3月	51	56.7%	49	54.4%	36	40.0%	41	45.6%	17	18.9%	82	68.3%
	90		90		90		90		90		120	
半期計	314	61.9%	307	60.6%	223	44.0%	216	42.6%	105	20.7%	478	70.7%
	507		507		507		507		507		676	
合計	606	58.4%	601	57.9%	448	43.2%	431	41.5%	203	19.6%	953	68.9%
	1038		1038		1038		1038		1038		1384	



# 令和5年度 自主事業報告書

施設名 老人福祉センター横浜市ユートピア青葉

単位:円

事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)
			募集人数	延参加人数	委託料支出総額	参加者負担総額	総経費	徴収の有・無	参加費用(保険料等)	1回1講師あたり	1教室講師謝金額	
前期趣味の教室「ボイストレーニング」	第1・3 木曜	12	25	203	65,000	5,000	70,000	有	200	5,000	65,000	講師謝金は修了後一括支出
前期趣味の教室「足腰ストレッチ体操」	第2・4 木曜	12	15	179	66,830	6,384	73,214	有	336	5,000	60,000	〃
前期趣味の教室「笑いヨガ」	第1・3 火曜	12	15	113	66,830	4,704	71,534	有	336	5,000	60,000	〃
前期趣味の教室「一眼レフカメラ撮影術」	第2 水曜	6	10	57	33,470	1,680	35,150	有	168	5,000	30,000	〃
後期趣味の教室「3B健康体操」	第2・4 火曜	12	15	128	66,830	4,704	71,534	有	336	5,000	60,000	〃
後期趣味の教室「脳活音読」	第2・4 水曜	12	10	123	60,000	0	60,000	無	0	5,000	60,000	〃
後期趣味の教室「私の字を磨く」	第2・4 木曜	12	15	174	60,000	0	60,000	無	0	5,000	60,000	〃
後期趣味の教室「初歩からの囲碁教室(水曜コース)」	第2・4 水曜	12	10	49	60,000	0	60,000	無	0	5,000	60,000	〃
後期趣味の教室「初歩からの囲碁教室(木曜コース)」	第1・3 木曜	12	10	39	60,000	0	60,000	無	0	5,000	60,000	〃
もえぎ野まつり(団体発表会)	10月22日	1	-	1,068	0	0	0	無	0	-	-	もえぎ野地域ケアプラザと共催
もえぎ野作品発表展(壁面展示)	10月1～28日	1	-	365	0	0	0	無	0	-	-	登録8団体が参加
もえぎ野作品発表展(大広間展示)	10月24～28日	1	-	97	0	0	0	無	0	-	-	登録5団体が参加
介護予防普及啓発事業「元輝体操」前期	半年(月1回)	6	定員無	147	73,550	0	73,550	無	0	5,000	30,000	講師謝金は半期毎に支出
介護予防普及啓発事業「元輝体操」後期	半年(月1回)	6	定員無	163	経費は一括計算(前期に含む)			無	0	5,000	30,000	講師謝金は半期毎に支出
「ライフキネティック」前・後期	半年(月2回)	24	20	240	154,934	11,220	166,154	有	30	5,000	120,000	講師謝金は半期毎に支出
ライフキネティック特別編「ポッチャ講習会」	年4回	4	20	45	ライフキネティックに含む			有	30	5,000	20,000	講師謝金は半期毎に支出
元プロボクサーによる「肩・腰・膝の不調改善講座(夏)」	7/26・8/2・8/9	3	25	65	35,150	2,400	37,550	有	100	5,000	15,000	講師謝金は修了後一括支出
「頭のストレッチ運動～ブラッシング講座」	7/31・8/7	2	25	43	10,000	0	10,000	無	0	5,000	10,000	講師謝金は修了後一括支出
「頭のストレッチ運動～ブラッシング講座」	10/30・11/27・12/25・1/29・2/26・3/25	6	25	156	30,000	0	30,000	無	0	5,000	30,000	講師謝金は修了後一括支出
ラジオ体操 秋季	毎週金曜日(9/29～12)	12	-	67	-	-	-	無	0	-	-	大広間カラオケ開始前に実施
ラジオ体操 冬季	毎週金曜日(9/29～13)	13	-	96	-	-	-	無	0	-	-	大広間カラオケ開始前に実施
障害者支援団体交流会	1月28日	1	-	27	-	-	-	無	0	-	-	ケアプラザとの共催事業 機能回復訓練室でダンスとポッチャ
元プロボクサーによる「肩・腰・膝の不調改善講座(冬)」	1/10・17・24	3	25	65	35,150	2,500	37,650	有	100	5,000	15,000	講師謝金は修了後支出
老後のお金の基礎知識	2月3日	1	25	24	5,000	0	5,000	無	0	5,000	5,000	市社協老人福祉センター3館共通講座
上谷本地区社協 ふれあい会	2月10日	1	90	126	-	-	-	無	0	-	-	機能回復訓練室使用
いきいき美容教室	3月4日	1	15	16	-	-	-	無	0	-	-	資生堂ジャパンによる無料講座
ポッチャ交流会	3月9日	1	25	17	-	-	-	無	0	-	-	ケアプラザとの共催事業 機能回復訓練室でポッチャ
ビューティーケア講座	3月14日	1	10	11	-	-	-	無	0	-	-	ボランティア講師によるセルフハンドケア アロママッサージ講座

### 苦情対応状況報告

	年月日	内 容	対 応 結 果
1		※苦情はありませんでした。	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

## サービス向上及び経費節減努力事項報告

	実施時期	内 容	効 果
1	4月	受付の場所が分かりにくいという声があったため、玄関から見える位置に受付を新たに設置し、コミュニティスタッフを配置することとした。	始めて来館された方はもちろん、定期的にご利用される方にも声をかけられやすくなり、利用案内が円滑に出来るようになった。
2	6月	会議室の机の配置形態を明示した貼紙を部屋内に掲示した方が、使用・移動後に配置し直す際に便利ではないかというご意見があったため、机の配置図を作成し、掲示した。	机等を移動して活動を行うサークル等より、活動終了後、机の配置を確認しながら並べることができるので助かるとの声をいただいた。
3	8月	館内を土足で入れるようにした。(機能回復訓練室、大広間、和室、娛樂室を除く)	靴を履き替える時の転倒のリスクを防ぐことができる、おおむね好評。
4	9月	職員ミーティングの時、パソコンやプロジェクターを活用して行うようになった。	資料としての紙が不要となり、経費削減につながった。
5	9月	大広間のカラオケ利用を再開した。	カラオケの再開を待っていた個人利用者に変好評。
6	11月	更衣室の利用を再開した。	活動時に着替えが必要な団体には好評。
7			
8			
9			
10			

# 令和5年度 備品一覧

施設名 老人福祉センター横浜市ユートピア青葉

No	品名	形状・その他	単価(円)	購 入		廃 棄		増 減
				数量	年月日	数量	年月日	
1	リモートホンAT1000(電話機)	リモートホンAT1000	31,900	1	R5.8.25			
2	サンワサプライスタンダードチェア	オフィスチェア	9,182	1	R5.5.25			
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20			41,082					

(注) 当該年度予算で購入した備品、または廃棄した備品を記入してください。



# 令和5年度 修繕一覧

施設名 老人福祉センター横浜市ユートピア青葉

No	修繕年月日	修 繕 箇 所	金 額(円)	業 者 名
1	6月15日	地下機械室ガス漏れ警報器交換	13,286	横浜パシフィック管理株式会社
2	6月15日	1階駐車場側出入口ブラインド交換工事	50,325	横浜パシフィック管理株式会社
3	9月18日	階段木製手すりの修繕について	50,325	横浜パシフィック管理株式会社
4	10月7日	2階会議室倉庫ロールカーテン取付工事	57,200	横浜パシフィック管理株式会社
5	12月17日	受水槽定水位弁交換工事	145,607	横浜パシフィック管理株式会社
6	12月27日	受水槽給水配管交換工事	15,433	横浜パシフィック管理株式会社
7	12月18日	電気室内過電流継電器交換	59,719	(株)ハマメンテ
8	2月22日	生きがい作業室ブラインド修理	86,350	横浜パシフィック管理株式会社
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
計			478,245	

## 令和5年度 委託内容一覧

施設名 老人福祉センター横浜市ユートピア青葉

No	委託期間	委託内容	金額(円)	業者名
1	4/1-3/31	エレベーター保守点検	241,560	株式会社 フジテック
2	4/1-3/31	機械警備	177,144	株式会社 KSP
3	4/1-3/31	空調保守点検業務委託	1,574,410	株式会社 神奈川産業
4	4/1-3/31	産業医	81,000	産業医 松井一雄
5	4/1-3/31	自動ドア保守点検	62,269	株式会社 神奈川ナブコ
6	4/1-3/31	植栽維持管理	269,742	作庭マディストーン
7	4/1-3/31	電気工作物保守点検	112,728	株式会社ハマメンテ
8	4/1-3/31	日常・定期清掃業務	1,870,048	横浜ヒューマンサービス 株式会社
9	4/1-3/31	利用者用コピーパフォーマンス料	39,600	株式会社 ミナト事務器
10	4/1-3/31	駐車場保守点検	221,430	株式会社 富士ダイナミクス
11	4/1-3/31	建築物・電気設備総合巡視点検	260,348	三洋装備 株式会社
12	4/1-3/31	防災設備保守点検委託及び非常用発電設備の疑似負荷試験	449,570	能美防災株式会社
13	4/1-3/31	害虫駆除	91,927	神奈川県有害生物防除協同組合
14	4/1-3/31	ボイラー保守管理	46,970	日本サーモエナー
15	4/1-3/31	複合機保守	358,336	ミナト事務器
16	8月10日	産業廃棄物及び機密書類運搬収集処理費用	42,776	株式会社 早船
17	10月13日	簡易専用水道検査委託費	10,065	神奈川県予防医学協会
18	12月8日	直流電源装置保守点検	60,390	横浜日電工業株指揮会社
19	3月31日	ゴミゼロルート回収経費	284,870	横浜市
20	3月25日	機能回復訓練室水銀灯漏電調査	95,700	ハマメンテ
21				
22				
23				
24				

6,350,883

目標設定の視点	あ 計画内容及び運営目標	い 計画内容及び運営目標に対する実績	う 今後の取組 (改善計画) 第29条第2項 第38条第4項	自己評価
利用者サービス	<p><b>事業計画書</b></p> <p><b>1-2 地域の将来像に対する具体的取組</b></p> <p>(1) 老人福祉センターの目的である高齢者の健康増進・社会参加の促進を目指し、併設するもえぎ野ケアプラザとの連携を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケアプラザの協力を得て介護予防講座等を実施します。</li> <li>・持続的・自律的な活動の継続を目指して、参加者のグループ化や自主活動化を支援することなどにも取り組めます。</li> </ul> <p>(2) 地域ケアプラザの地域包括支援センター・生活支援体制整備・地域活動交流部門との連携を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合窓口や日頃の関わりから得られる相談機能を活かし、個人利用者同士のコミュニティの醸成や利用団体相互の協力関係の構築に努めます。</li> <li>・区役所・区社協・地区社協・地域ケアプラザ等の関係機関との連携・協力により、見守り活動等、地域住民が主体的に支えあう仕組みづくりを推進し「共助の層の充実」を目指します。</li> </ul> <p>(3) 顔の見える関係づくり</p> <p>地域の方々が住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるよう、困ったときだけでなく、日頃から相談</p>	<p>当館が、地域ケアプラザとの併設館であるという特性やメリットを最大限に活かし、老人福祉センターの役割や機能に加え、計画的な事業展開やサービス提供に努めています。</p> <p>特に、地域ケアプラザ各部門（地域活動交流、地域包括支援センター、生活支援、居宅介護支援、通所介護）と協力・連携し、施設全体で地域課題や地域ニーズを共有しながら施設の運営や各種事業等を実施しました。</p> <p>介護相談で来館した利用者に、ユートピアの自主事業や登録団体のサークルを紹介するなど、数多くの連携した事例がありました。</p> <p>コミュニティスタッフは笑顔であいさつ、声掛けをモットーに努め、来館者との関係づくりを進めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の充実した生活継続の援助として、健康の維持・増進、見守りの充実や生活課題の解決をより一層図り、もえぎ野センターを中心とした身近な地域での見守り、つながり、支えあいの実現に向けて、地域ケアプラザや関係機関との連携を引き続き推進していきます。</li> <li>・引き続き、利用者にとって安心・安全・快適な施設運営を行っています。</li> <li>・利用者増と新規利用者の開拓を図るため、利用者のニーズを的確に捉え、魅力ある事業の企画・実施を実現します。また、他施設や関係機関との連携や情報共有を推進し、広報・PR活動を強化していきます。</li> </ul>	A

<p>利用者サービス</p>	<p>ができる身近な存在として、個人利用者・利用団体や地域関係機関との顔の見える関係づくりを進めていきます。</p> <p>・職員による利用者来館時の挨拶を徹底したり、活動見学、活動団体と地域のつながりづくり、「趣味の教室」参加者への修了証交付等小さな事柄を積み重ねることを重視していきます。</p>	<p>(3月末現在来館者数 32,130人)</p>		
<p>業務運営</p>	<p><b>事業計画</b></p> <p><b>3-(1)館長及び職員の確保、配置</b></p> <p>ア 館長には、施設管理者として必要な経験のある管理職を配置するとともに、常勤職員は地域福祉や老人福祉センター・地区センターでの勤務実績のある職員を配置します。</p> <p>イ 常勤職員は法人内部の調整により、コミュニティスタッフは、地域の雇用の場となるよう公募により、できる限り地域の方を採用することにより、施設と地域をつなぐ役割を担います。</p> <p>ウ 経費削減も考慮しつつ、サービス低下を招かぬよう適材適所、適正な職員配置を行います。</p> <p><b>事業計画書</b></p> <p><b>4-(1)施設及び設備の維持保全及び管理・小破修繕の取組</b></p> <p>ア 利用者が快適、安心・安全に施設を利用いただけるよう、利用者のご意見を取り入れながら、市・区役所、併設の地域ケアプラザと連携し、施設の維持管理に努めます。</p> <p>イ 利用に支障が生じないように、日常点検や定期点検を実施し、故障や不具合の早期発見・早期対応に努めます。また、施設・設備の長寿命化に向け、必要な施設・設備</p>	<p>コミュニティスタッフの欠員の補充は、施設と地域をつなぐ役割を考慮し、地元から採用しました。また、OJTや法人内での研修を実施し、組織的なノウハウやスキルの蓄積・継承に努め、引き続き、円滑な業務運営やサービス提供をしました。</p> <p>施設の設備の経年劣化が徐々に進むなか、ご利用者の安心・安全を第一に日常点検・定期点検等を適切に行い、故障や不具合の早期発見に対応しました。9月には階段の木製手すりの修繕を行いました。</p> <p>その他、快適で安心・安全な施設設備を維持するため、日々点検、補修の取り組みを継続しています。</p>	<p>・今後の修繕対応が必要な箇所についても、市・区、本会本部等と現状や緊急度、必要経費等を情報共有しながら、連携・協力のもとに対応を行っていきます。</p>	<p>A</p> <p>A</p>

<p>業務運営</p>	<p>の改修や修繕を市・区等と協議しながら計画的に行います。</p> <p>ウ 特に緊急性の高い空調設備や高圧電力等に関わる修繕については、市・区等と連携・協力して計画的に取り組み、快適で、安心・安全なご利用環境の確保に努めます。</p> <p><b>4-(2)事故防止体制・緊急時の対応及び防災に対する取組</b></p> <p>ア 朝・タミーティング等日常的にヒヤリハットを共有し事故防止に努めるとともに、法人内や他施設の事故情報を共有し、施設内の点検により事故等を未然に防止する取組を継続的・組織的に進めます。</p> <p>イ 事故等が発生した場合でも迅速・的確に対応できるよう「事故・事件等対応マニュアル」を整備し、業務運用するとともに、地震等大規模災害が発生した場合でも必要なサービスや業務が継続できるよう「事業継続計画（BCP）」を整備します。また、新規配属の常勤職員に対する施設への参集訓練を実施し、事業継続計画へ反映していきます。</p> <p>ウ 施設及び法人内、区役所との緊急連絡網を整え、防犯・防災時の連絡体制を整備します。また、災害時に備え、区から貸与された災害時優先携帯電話に加え、法人として、災害対応用電話（PHS）を運用しています。</p> <p>エ 地域ケアプラザ、青葉消防署等と連携した合同防災訓練を開催します。（年2回）また、職員の防災意識高揚のため「消防自主点検表」に基づく点検を毎日実施します。</p>	<p>スタッフによるチェックリストを利用した巡回や点検時の不備・不具合等のリスク情報を、朝夕、引継し、職員・スタッフ間で情報共有し、事故の未然防止の取組に繋げました。</p> <p>ご利用者の高齢化もあり、転倒や体調急変のリスクが高まる中、日々の見守りや声掛け、緊急時に迅速・適切な対応が、いつでも誰でも行えるよう職員の意識啓発、知識の向上等を積極的に進めるとともに、専門職を多く配置する地域ケアプラザとの併設館である良さを生かし、取り組みました。ヒヤリハットや他施設の事故情報を全職員・スタッフで共有し、再発防止や業務改善に繋がる取組を継続しました。</p> <p>9月20日（水）に、第1回目の防災訓練を利用者も参加して実施し、通報・消火・避難訓練を行いました。能見防災担当者より、消火器訓練を行いました。（参加職員：19名、施設利用行者4名）</p> <p>第2回防災訓練は2月1日（木）に実施しました。（職員：32名）大地震発生に伴い、1階大広間より火災が発生し延焼の恐れを想定して、通報・消火・避難訓練を行いました。能見防災担当者より、消火栓訓練を行いました。</p>	<p>・重要なヒヤリハット事例については、区への報告、また職場内で検討を行い、原因および対策を徹底分析し、今後の事故やトラブルの防止、サービス向上に繋げていきます。</p> <p>・今後は職員の人数が50%以下や夜間等様々な状況を想定しての訓練を行っていき、実際の発災時に対応できるようにしていきます。</p>	<p>A</p>
-------------	--	---	---	----------

<p>業務運営</p>	<p>オ 「福祉避難所」としての役割が果たせるよう、防災備蓄物資の適切な保管管理や人員体制整備を区役所と連携し進めます。特に「福祉避難所」の役割や機能、運営方法等について、常勤・非常勤職員間で共有し、いざという時の取るべき行動を確認します。</p> <p>カ 地域防災拠点運営委員会が実施する地域の訓練等に参画し、日頃からの顔の見える関係づくりを進め有事に備えます。</p> <p><b>4-(3)利用者のニーズ・要望・苦情への対応</b></p> <p>ア 利用者アンケートを実施し、利用者のご意見やご要望を業務改善やサービス向上の取組に繋がります。また、その取組を「改善宣言」として利用者懇談会等で利用者へお知らせするとともに館内に掲示します。</p> <p>イ 館内にご意見箱を常設し、利用者からご意見・ご要望を受けられる体制を整備し、業務改善等に繋がります。また、センター委員会や利用者懇談会を開催し、ご意見をいただく場を設けます。</p> <p>ウ 本会の「苦情相談対応マニュアル」に沿い、施設内外に苦情受付体制を整え、利用者の苦情やご要望を真摯に受け止め、事業やサービスの質の向上に繋がります。</p> <p>また、法人内で発生した苦情対応事例を情報共有し、業務改善に繋がるとともに、地域での会合等でも出席者からご意見を聞き、情報シートにより共有し、事業や取組に反映します。</p>	<p>防災備蓄物資の消費期限や数量等を点検し、福祉避難所としての役割を果たせるように整備を進めました。</p> <p>なお、災害用PHSのほか、法人独自の情報共有や連絡システムであるガルの活用や参集訓練に取り組みました。</p> <p>また、発災時のご利用者が取るべき行動や避難経路等を、館内放送や自主講座の開始時にお知らせする取組を実施しました。</p> <p>以前から要望があった、8月より館内を土足解禁にし、利用者サービスの向上に努めました。</p> <p>10月に利用者窓口満足度調査を行い、その結果を分析し、寄せられたご意見等をもとに改善宣言としてまとめ、館内に掲示しました。</p> <p>全職員が利用者のご意見・ご要望に真摯に向かいながら取り組むことを基本に、センター委員会の開催やご意見箱の設置、利用者アンケート等をあらゆる機会を捉え、ご利用者のニーズや意見を把握し、業務改善やサービス向上に努めました。また、他施設も含めた苦情対応事例や地域に関する幅広い情報を組織内で共有し、事業等に活かすよう取り組みました。</p> <p>施設運営上重大な苦情もなくまた軽易な要望事項については即時に対処し回答しました。</p>	<p>・今年度実施された地域防災拠点訓練に参画しました。今後実施の際は、共同して訓練を行っていきます。</p> <p>・ご利用者の意見・要望を集計・集約し、必要な改善の優先順位を作成するとともに、具体策実施とサービス向上に向けた検討を引き続き行っていきます。</p>	<p>Å</p>
-------------	---	--	---	----------

<p>業務運営</p>	<p>エ センター委員会を年2回開催し、地域の運営委員の方々からご意見をいただき、施設の運営・事業へ反映します。</p> <p><b>4-(4) 個人情報保護・情報公開への配慮</b></p> <p>ア 個人情報の適切な取扱いについて、全職員に対し研修を実施するとともに、月ごとの各部門会議等においても、随時、適切な取扱いについて、注意喚起します。</p> <p>また、個人情報取扱マニュアルによるチェックリストを作成し、年1回以上点検を行います。</p> <p>イ パソコンは、パスワードの設定や盗難防止ワイヤーによる固定、持ち出し持ち込み禁止、データの一元管理など適切に管理します。個人情報ファイルはキャビネットでの施錠保管し、個人情報の発信や発送は、複数人で確認しながら適切に行います。不要な文書は溶解処理、シュレッダー処理を行います。</p> <p>ウ 理事会・評議会等の議事録を法人HPに掲載するとともに、閲覧用の事業計画書・報告書を設置するなど積極的に情報公開に取り組みます。併せて、行事予定表の館内外への掲出、広報紙によるPR、センター委員会による委員の方々への施設運営状況に関わる説明を行うなど、積極的に情報を発信します。また、情報公開請求には、本会規程に基づき適切に対応します。</p>	<p>センター委員会は第1回を7月25日(月)、第2回を3月25日(月)に行いました。委員の貴重なご意見をもとに、利用者のニーズや意見を把握し、業務改善やサービス向上等、次年度の運営に役立てていきます。</p> <p>本会の個人情報マニュアルの更新や3月に全職員対象に「自主点検アンケート」を行い、個人情報の収集・利用・保管・廃棄の各段階における適切な取扱いについて組織的に適切な運用を行っています。</p> <p>また、日々の始業・終業時のミーティングにおいて、個人情報のルールに沿った適切な取扱いがされているかを確認するとともに、施設運営に関わる情報や事業等を施設開示やホームページなど多様な方法により積極的に公開・開示するよう組織的に取り組みました。</p>	<p>A</p>
-------------	--	--	----------

<p>業務運営</p>	<p><b>事業計画書</b></p> <p><b>5-(1)事業の実施、(2)施設の利用促進、(3)自主事業の計画</b></p> <p>地域の高齢者の「居場所・生きがい・仲間づくり」の支援を目的に多様な興味・関心に対応できるような講座を実施します。</p> <p>また、趣味・教養に限らず、様々な生活情報の提供や介護予防を視野に入れた講座を開催することで、情報発信の拠点とします。さらに、60代から80代まで幅広い利用者層があることから、年代によるニーズの違いを把握し、柔軟な対応ができるよう他部門と連携を図ります。</p> <p><b>(1) 趣味・仲間・生きがいづくり</b></p> <p>趣味を楽しみ、教養を高めることを通じ、仲間や生きがいづくりの場、地域活動のきっかけを提供します。事業実施に際しては、60代前半の新規利用者から80代まで幅広い年齢層の多様なニーズに対応した講座等の事業を展開します。また、来館そのものが健康増進や介護予防に繋がれることを、積極的にPRし、集客にも繋がるよう取り組みます。</p> <p><b>ア 趣味の教室の実施</b></p> <p>* 趣味・仲間・健康づくりを目的とした講座を実施します。</p> <p>* 自主化するにあたり、部屋の有効利用も考え、OB化や既存団体へつなぎなど、活動の継続を支援します。</p> <p>【参加者目標】 1教室あたり7割以上の参加</p>	<p>横浜市・青葉区の、コロナ禍における市民利用施設運営方針に基づき、生きがいや仲間づくり、健康づくりを目的に、ご利用者のニーズに合った各種事業を地域ケアプラザの各部門や地域の皆様、ボランティアの方々等と連携・協力しながら、事業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老後のお金の基礎知識 2月3日開催 24名受講(96.0%)</li> <li>・ いきいき美容教室 3月4日開催 15名受講(93.8%)</li> <li>・ ビューティーケア講座 3月14日開催 10名受講(90.9%)</li> </ul> <p>・ 趣味の教室実績 (前期)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボイストレーニング 延べ203名受講(67.6%)</li> <li>・ 足腰ストレッチ体操 延べ179名受講(100%)</li> <li>・ 笑いヨガ 延べ113名受講(62.7%)</li> <li>・ 一眼レフカメラ撮影術 延べ57名受講(95.0%)</li> </ul>	<p>施設内での交流や仲間づくり、生きがいづくりの場の提供、また併せて、複合館のメリットを活かした介護予防や健康づくりに向けた取組や事業を、引き続き地域ケアプラザと連携・協力しながら推進していきます。</p> <p>幅広い年齢層の利用者や新規の利用者が施設利用とのきっかけとなるような講座を企画し開催します。</p> <p>1講座あたり参加率70%以上の目標は、概ね達成できた。しかし、未達成講座もあるため、振り返りをし、利用者の声や社会状況等も考慮しながら関心が高く、魅力ある講座を今後も実施していく。</p>	<p>A</p>
-------------	---	--	--	----------



<p>業務運営</p>	<p><b>イ 介護普及啓発事業</b></p> <p>高齢者一人ひとりが健康寿命の延伸に向けた取組を主体的・継続的に行えるような意識を持つきっかけをつくりま す。</p> <p>申込み不要で参加できる体操事業を提供します。</p>	<p>(後期)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3B 体操 延べ 128 名受講 (71.1%)</li> <li>・ 脳活音読 延べ 123 名受講 (100%)</li> <li>・ 私の字を磨く 延べ 174 名受講 (96.6%)</li> <li>・ 初歩からの囲碁教室 延べ 49 名受講 (40.8%) (水曜コース)</li> <li>・ 初歩からの囲碁教室 延べ 39 名受講 (32.5%) (木曜コース)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>肩・腰・膝の不調改善講座 (全 3 回) 夏</b> 7 月 26 日 (水)、8 月 2 日 (水)、8 月 9 日 (水) 延べ 65 名参加 (86.6%)</li> <li>・ <b>肩・腰・膝の不調改善講座 (全 3 回) 冬</b> 1 月 10 日 (水)、1 月 17 日 (水)、1 月 24 日 (水) 延べ 65 名参加 (86.6%)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>ライフキネティック (全 24 回) 毎月第 3 水曜日</b> 大広間を利用して、脳トレと運動を組み合わせた エクササイズを行いました。 延べ 240 名 (50.0%)</li> <li>・ <b>ライフキネティック特別編ポッチャ講習会 (全 4 回)</b> 6 月 21 日、9 月 20 日、11 月 15 日、2 月 21 日 延べ 45 名参加 (56.3%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 併設の地域ケアプラザの協力を得て、利用 者のニーズを把握し、高齢者の必要な生活情 報を提供できる事業の企画を行っていきま す。</li> </ul>	<p>A</p>
-------------	--	---	---	----------

<p>業務運営</p>	<p><b>(2) 生活相談・個別支援</b></p> <p>利用者の高齢化が進むなか、職員やコミュニティスタッフによる、日常的な見守りの取組を引き続き推進します。特に地域包括支援センターの機能を有する地域ケアプラザを併設しているという特色やメリットを十分活かし、二つの施設が互いに連携・協力しながら、相談や個別支援が必要と思われる利用者を、地域ケアプラザ等につなげる取組を積極的に行います。</p> <p>*引継日誌のヒヤリハットの欄を活用し、利用者に対する気付きを共有します。</p> <p><b>(3) 健康づくり</b></p> <p>利用者の健康づくり・介護予防、地域ぐるみの健康づくりのため、体操事業を継続して実施します。また事業の中で健康情報や生活情報の提供を行い、意識啓発に努めます。</p> <p>ア 申込み不要の体操（日曜日の元輝体操）を継続して提供します。</p> <p>イ 体操参加者へ地域包括支援センターの協力を得ながら情報提供を行うことで、健康づくり、介護予防の意識啓発に努めます。</p> <p>ウ 地域包括支援センターと共催により健康チェック（血圧測定等）の機会を設け、時期に合わせた健康情報もあわせて提供します。</p> <p><b>(4) 大広間開放イベント</b></p> <p>演芸の場だけでなく大広間をめざして、各種事業を実施します。広い和室の空間を生かした内容を工夫し行います。横浜市健康スタンプラリーに登録し、町ぐるみの健康づくりを進めます。</p>	<p>・生活・健康相談 547名</p> <p>・元輝体操（全12回）毎月第3日曜日 機能回復訓練室を利用し、事前予約不要の自由参加制のため、気軽に参加できると好評でした。 延べ 310名</p> <p>趣味の教室やライフキネティック講座・登録団体の活動に大広間を利用しました。</p>	<p>職員間でも情報を共有し、いつでも気軽に来る場所だからこその支援を意識して、地域ケアプラザと連携し相談対応を行っていきます。</p> <p>利用者の安心安全を確保しつつ、大広間での自主講座の開催等、多角的利用方法を検討・実施していきます。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>
-------------	--	---	---	----------------------------

<p>業務運営</p>	<p>* 「もえぎ野まつり」などを通じ、60 歳以上の方以外にも場を提供します。</p> <p><b>(5) 地域開放事業</b></p> <p>老人福祉センター利用者の声のみならず、地域ケアプラザとの併設館の強みを活かし、地区社協・町内会・老人会のサロン等へ出向き、地域情報の把握や地域の声を反映し事業を行っていきます。また、地域ケアプラザと共催で、多世代交流や介護予防事業などを行います。</p> <p><b>ア もえぎ野まつり（ケアプラザと共催）</b></p> <p>* 地域ケアプラザと共催で、地域と一体となった開放事業を実施します。活動発表やボランティアグループ・福祉団体によるバザー、地区社協ボランティア会によるサロンや映画会、高齢者疑似体験など地域関係団体と協力し実施します。</p> <p>* また、施設のPRや個人ボランティアのきっかけの場とします。</p> <p>【参加者目標】 3, 000名以上</p> <p><b>イ 老人クラブとの連携</b></p> <p>青葉区老人クラブ連合の「横浜シニア大学」会場としてセンターを利用いただき、老人クラブとの連携を図るとともに、センターの利用促進を図ります。</p>	<p>地域町内会の音楽会の会場として、機能回復訓練室を利用いただき、地域住民が交流する機会を作ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柿の木台音楽祭 12月17日開催</li> <li>・ 障害者団体交流会 1月28日開催 (CP 共催事業)</li> <li>・ 上谷本地区社協ふれあい会 2月10日開催</li> <li>・ ボッチャ交流会 3月9日開催 (CP 共催事業)</li> </ul> <p>4年ぶりにもえぎ野まつりを地域ケアプラザと共催で開催しました。同時に「もえぎ野作品発表展」を開催し、絵画やトールペイント等の教養分野の活動団体の作品を約一か月間展示し、見学者・参加者共に大変好評でした。</p> <p><b>もえぎ野まつり</b></p> <p>10月22日（日） 参加人数 1068名</p> <p>もえぎ野作品発表展</p> <p>10月1日～28日 参加人数 432名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>会場提供</b></li> <li>横浜シニア大学</li> <li>6月7日（水）～8月2日（水）（全9回）</li> <li>・ 青葉区老人クラブ連合会機関誌「あおば」への広告掲載。社交ダンス部は月1回の機能回復訓練室の優先利用を実施。</li> </ul>	<p>来年度も利用者と地域住民協力を得て、検討実施をしていきます。</p>	<p>B</p>
-------------	---	---	---------------------------------------	----------

<p>業務運営</p>	<p><b>(6) ボランティア活動支援（ケアプラザと共催）</b></p> <p><b>ア 園芸ボランティア支援</b> センター中庭及び外周の草花の手入れをしてくださる「ザ・ガーデニング」の活動を支援します。また、新規メンバーの加入促進を図ります。</p> <p><b>イ 障がい者支援ボランティアグループへの活動支援</b> 障がいのある若者の就労支援を行っているボランティアグループの活動支援を行います。</p> <p><b>ウ デイサービスへのボランティア支援</b> ユートピア青葉で活動する団体が、ボランティアのきっかけとして、もえぎ野デイサービスへ趣味活動を行う機会を提供できるよう、呼びかけを行います。</p> <p><b>(7) 広報活動</b></p> <p><b>ア 広報紙「ファイトもえぎ野」発行（ケアプラザと共催）</b> 年6回奇数月発行予定 各2, 500部 * 町内回覧にご協力をお願いするほか、区内地区センターや地域ケアプラザ、区民活動支援センターにも配架を依頼します。センターの周知とともに、事業や日頃の取組の様子を紹介します。なお、趣味の教室を中心としたユートピア青葉の情報に特化した特別版は、年2回青葉台連合の一部にも配布依頼します。</p> <p><b>イ ホームページによる案内</b> 法人ホームページにおいて事業案内を定期的に行います。</p>	<p>・ 毎月1回活動実施しました。 地元の店舗から花苗を購入することにしました。</p> <p>・</p> <p>施設 HP を活用し、施設からのお知らせや自主事業・施設広報紙を掲載しました。</p> <p>自主事業や施設からのお知らせを定期的アップしました。 また、月間行事カレンダーを掲載しました。</p>	<p>情報発信は引き続き強化していきます。広報紙のほか、チラシ等については、興味や関心のある内容を読みやすく発信していきます。</p>	<p>B</p> <p>B</p>
-------------	---	--	---	-------------------

<p>業務運営</p>	<p><b>ウ ブログによる情報発信</b> 平成 25 年度よりブログを開設しています。毎週更新していき、紙ベースの情報とは違った、写真入りの最新情報発信を行います。</p> <p><b>エ 月間カレンダーの活用</b> 毎月、誰でも参加できる行事（体操や、親子の広場など）が一目で分かるよう、月間予定カレンダーを作成し、館内配布のほか、玄関外の掲示板に掲出及び配架し、開館時間外でも見るようにします。</p> <p><b>(8)その他</b></p> <p><b>ア 実習生の受け入れ</b> 看護学校の実習受け入れ等を予定しています。</p> <p><b>イ 近隣の小中学校の体験学習受け入れ</b> ユートピア青葉での職場体験の受け入れを行います</p> <p><b>ウ 図書の貸し出し（ケアプラザと共催）</b> 地域開放の一環として、図書の館外貸出しを行います。飲食可能なフリースペースに図書を設置することから、居場所づくりの提供とも位置付けます。</p> <p><b>事業計画書</b></p> <p><b>6-1 環境への配慮 (1)、(2)、(3)</b></p> <p>ア 利用者に対するゴミの持ち帰り、紙の無駄使いをしないなど、身近なゴミの少量化に努めます。</p> <p>イ ヨコハマ3R夢を踏まえ、ゴミの分別やリサイクルに取り組むとともに、リサイクルペーパー等エコ商品の購入を推進します。</p> <p>ウ 部屋の消灯、適切な室内温度の設定、節水など温暖化防止に向け取り組みます。</p>	<p>受け入れ実績</p> <p>イムス横浜国際看護専門学校 名 昭和大学保健医療学部看護学科 22 名 もえぎ野中学校 2 年生職場体験 5 名 藤が丘小学校 3 年生施設探検 36 名</p> <p>図書の貸出を継続実施</p> <p>すべてのご利用者にゴミの持ち帰りをお願いするほか、職員もゴミの分別や持ち帰りを積極的に進めました。</p> <p>また、施設内の節電や節水、リサイクル等エコ活動をポスター掲示等で推進しました。</p>	<p>・引き続き、広報紙・ホームページ等、広報活動の充実に努めます。広報紙で自主事業の案内や団体の後方支援を行っていきます。(追加)</p>	<p>A</p> <p>A</p>
-------------	---	--	--	-------------------

	<p><b>6-2 人権尊重への取組について</b></p> <p>各種人権研修への参画をはじめ全職員が、日々人権感覚に磨きがかかるよう施設内全体の人権意識の維持・向上に努めます。</p> <p><b>6-3 中小企業への優先発注について</b></p> <p>市条例を踏まえ、業務委託や物品購入等の発注に際しては、市内中小業者への優先発注を第一に取り組みます。</p> <p><b>事業計画書</b></p> <p><b>7 区で強化したい機能</b></p> <p>(前記 1-2 地域の将来像に対する具体的取組に同じ)</p>	<p>法人または区主催の人権研修に参加するなど人権尊重に向けた組織的な取組を推進し実施しました。</p> <p>物品購入をはじめ契約に関わる発注は、市内中小業者への優先発注を基本に行いました。</p> <p>前述のとおり</p>		A
--	--	--	--	---

<p>職員育成</p>	<p><b>事業計画</b>  <b>3-(2)職員の育成・研修 1.2</b>  ア 本会の「人材育成計画」等に基づき、職員やコミュニティスタッフに対する職場における日常的なOJT（実務を通じての教育・訓練）を推進します。また、新人職員がいる場合には、新人育成リーダー制度を活用し育成します。</p> <p>イ 法人全体で、経験年数に応じ実施する基幹研修や課題別研修等を受講し、研修成果を職場内で共有するとともに、人事考課制度を通じた人材育成を併せて行います。</p> <p>ウ 職場内における採用時研修、全体研修等を適宜開催し、職員の資質向上に努めます。</p>	<p>老人福祉センター職員によるコミュニティスタッフ全員参加の接遇研修を行いました。（11月）研修計画に基づく各種研修の受講や人事考課制度を活用し、計画的で実践的な人材育成に取り組み、円滑な業務運営やサービス提供が確保できるよう取り組みました。</p> <p>職場内の職員全体研修（6月・2月）においてコンプライアンス研修、人権研修、個人情報保護研修等を実施しました。</p>	<p>・コミュニティスタッフの研修を行い、接遇レベルの向上を今後も進めます。</p>	<p>A</p>
<p>財務</p>	<p><b>8 収支計画及び指定管理料</b>  ア 質の高い業務を実施するため、地域貢献を考慮した人員配置と必要な人件費の確保を行うとともに、実績に基づいた収支計画とします。  また、経費削減について、施設の長期的な安全性確保の観点から利用者への分かりやすい説明を心掛け、注意と協力のもと取り組みます。</p> <p>イ 経年劣化等による修理・改修対応が必要となっておりますが、利用者の安全確保を第一に、緊急性や優先度を考</p>	<p>収支計画については、細やかな経費節減の努力や工夫、併設の地域ケアプラザとの連携のもと、年間を通じた保守管理等、計画に沿った執行に努め、良好な施設の維持管理に努めました。しかし、質の高い職員を適正に配置するには、相当な人件費が必要であるが確保は厳しい状況にある。</p> <p>施設・設備の改修については、日々の点検に努めるとともに、ご利用者への影響度、緊急性や優先順位等を考</p>	<p>火災受信警報装置や事務所照明をはじめ、施設・設備の経年劣化等による故障や不具合が増加する傾向にあることから、市・区と日頃からの情報共有をさらに密にしていき、対応を行っていきます。</p>	<p>B</p>

<p>その他 (上記4つの視点以外の項目があれば追記)</p>	<p>慮し、地域ケアプラザや区役所と協議しながら計画的に対応します。</p> <p>ウ 法人内他施設と共通する業務委託について、法人本部にて一括入札を行うことで経費節減を図ります。</p> <p>エ 事業実施に際し、経費節減と地域の人的資源活用を考慮し、地域人材に講師依頼するなど工夫しながら取り組みます。</p> <p>オ 利用者の安心・安全、満足を最優先にハード面に加え、ソフト面のサービス提供も重視し、適宜適切な経費配分に努めます。</p>	<p>慮し、市・区役所と協議しながら、取り組みました。</p> <p>施設管理業務や消耗品の一部について、法人で一括購入し、経費節減を図るとともに、「みんなの施設」という意識醸成をめざし、図書管理や植栽の手入れを地域のボランティアの協力を得ながら実施しました。</p>		
<p>利用者等の意見</p>	<p>前記、業務内容の項目4-(3)利用者のニーズ・要望・苦情への対応に同じ</p>	<p>左記に同じ</p>		<p>A</p>

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載